

子どもとつくる管刈の 楽しい居場所会議

(第3回)

本日の次第

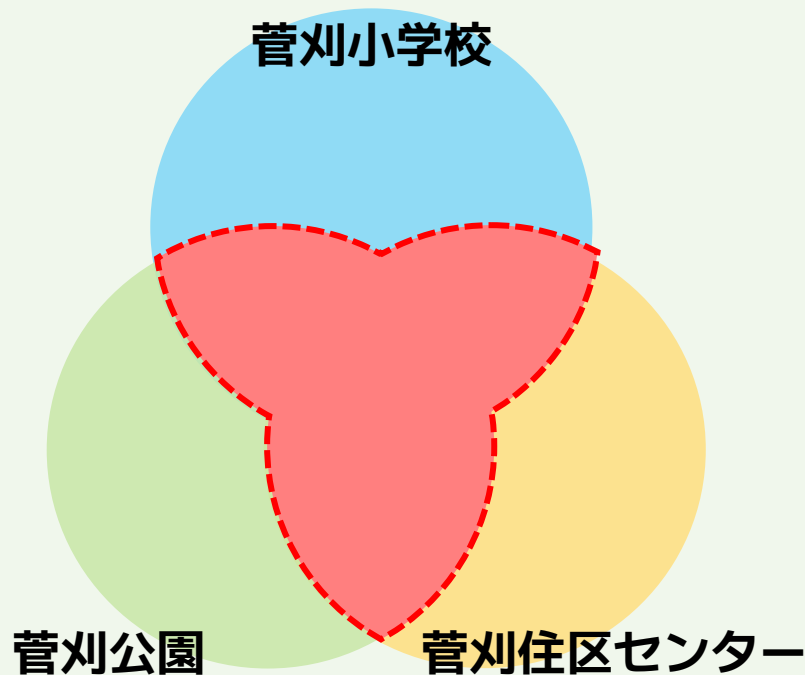
- 1 居場所の目指す姿とロードマップ
- 2 これまでの取り組み
- 3 基本方針（案）
- 4 意見交換

1 居場所の目指す姿とロードマップ

目指す姿 (第一回会議資料から抜粋)

目黒区子ども総合計画 ▶▶▶ 自分らしくいられる場所、自分で多様な体験や遊びができる空間

菅刈地域からの要望 ▶▶▶ 中高生や不登校児の居場所、多世代交流の場や子どもたちの遊びや仲間づくりへの支援の場



新たな居場所づくり

・既存事業（学童・ランラン）との連携

・プレーパーク整備
・公園内他施設（広場・畑等）との連携

・居場所支援空間

・子どもたちの遊びや仲間づくりの支援
・既存団体の相互協力
・居場所づくり活動の連携

1 居場所の目指す姿とロードマップ

令和7年度

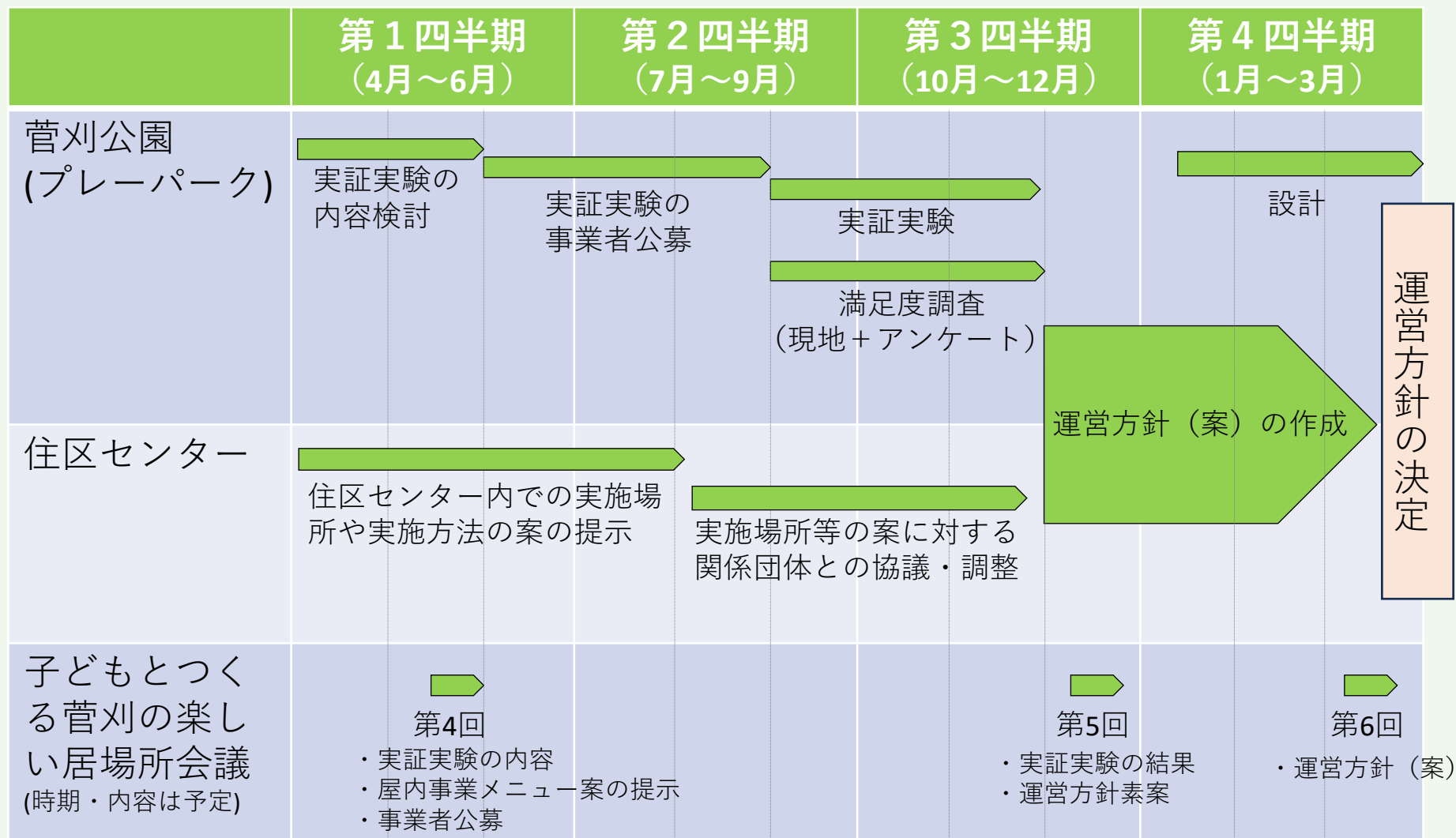
	第1四半期 (4月～6月)	第2四半期 (7月～9月)	第3四半期 (10月～12月)	第4四半期 (1月～3月)
菅刈地域への 意見聴取			アンケート 団体ヒアリング	グループ ワーク
子どもとつくる 菅刈の楽しい 居場所会議		第1回(8/29) ・居場所の現状と 目指す姿 ・居場所の定義	第2回(12/11) ・アンケート 中間報告	第3回(3/18) ・基本方針 (案)の提示

基本方針…菅刈地域の実態を踏まえた子どもの居場所づくりのコンセプト

※基本方針を次年度の実証実験の内容や運営方針等へ反映する。

1 居場所の目指す姿とロードマップ

令和8年度（予定）

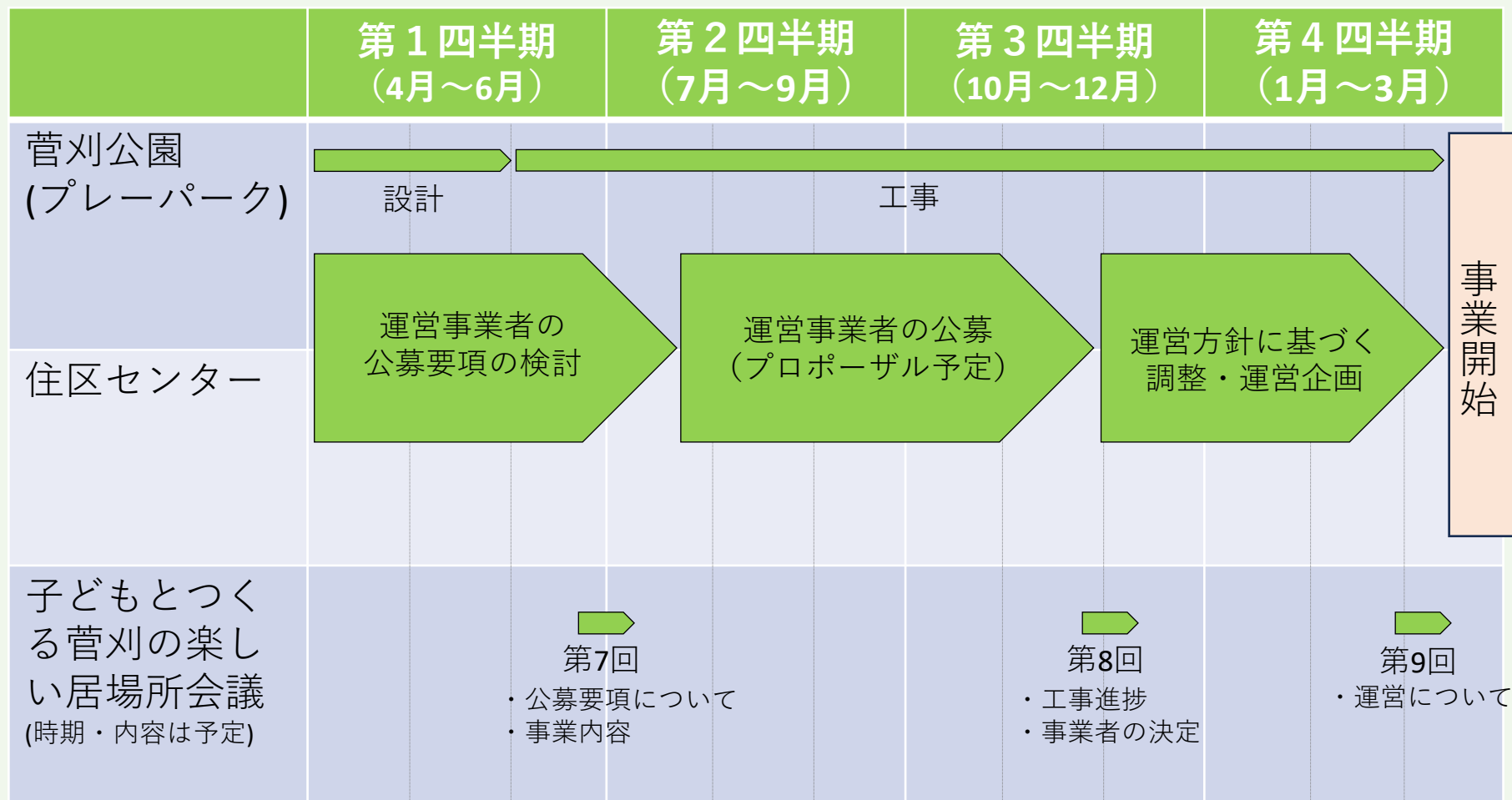


運営方針の決定

運営方針...事業を行う居場所（屋内・屋外）に関するエリア・ルール・実施体制に関する方針

1 居場所の目指す姿とロードマップ

令和9年度（予定）



2 これまでの取り組み

子どもとつくる菅刈の楽しい居場所会議

項目		内容
第1回	日時	8月29日（金）19時～20時30分
	内容	・事業の進め方 ・居場所の現状と目指す姿について （区）自分らしくいられる、多様な経験 （地域）中高生・不登校児居場所、多世代交流
	意見交換	・心身の「体力づくり」 ・サードプレイスづくり ・子どもにとって面白いことを聞く ・不登校児やイベントに参加できない子どもも来られる取組を ・公園利用者との共存 ・実証実験はプレーパークを想定 ・屋外・屋内の活動を分けて検討
第2回	日時	12月11日（木）19時～20時30分
	内容	・会議名の決定「子どもとつくる菅刈の楽しい居場所会議」 ・屋外型のプレーパークと、屋内型の住区センターの2種の居場所 ・アンケートの中間報告
	意見交換	・親の協力があると子どもの出来ることが増える ・中高生の今の居場所について（部活、塾、カフェなど）

2 これまでの取り組み

菅刈地域・菅刈小学校でのアンケート

概 要	
調査対象	菅刈地域に居住する区民・菅刈小全校生徒
調査方法	オンラインフォーム・現地配布
	・ 菅刈小学校、第一中学校への保護者配信システム ・ 近隣保育への配布 ・ 菅刈住区センター、東山児童館、近隣児童館、近隣公園へのアンケート箱の設置 ・ 町会、住区掲示板への掲示 ・ 菅刈小学校のクラス内での配布
調査期間	2025年10月14日（火）～2025年10月27日（月） 2026年 1月23日（金）～2026年 2月 7日（土）（近隣児童館への追加調査） （菅刈小：2025年12月5日（金）～2025年12月19日（金））
回答数	児童・生徒：363件（うち275件が菅刈小学校） 大人：44件

2 これまでの取り組み

菅刈小3年生への出前授業

実施日：令和7年12月5日（金）13:25～14:05

対象：小学3年生 2クラス

実施内容：菅刈公園・住区センターでどうやってすごしてる・遊んでる？
こんなすごし方・遊び方をしてみたい！



出前授業の様子

2 これまでの取り組み

菅刈小3年生への出前授業

菅刈小学校の3年生といっしょに考えた
「菅刈公園」と「菅刈住区センター」でやってみたい「すごし方・あそび方」

菅刈公園		菅刈住区センター	
ゆうぐひろば 遊具広場 ターザンロープ てつぼう ゆうえんち めいろ フール バスケ やきゅう おかし かき氷 アイス ゴミほこ イスとテーブル 何ももっていかな なくてもみんな がたのしめる 	その他 アスレチック 木のほり トランポリン スポッチャ いけにポート コイにえさやり えいがかん テレビ Wi-Fi 大きなホール 小さな天文台 ユニバよりもたのしいぼし ひとがたくさんあつまる 	としよ 図書コーナー おりがみ レゴ がちゃがちゃ ベッド ごみほこ 本やマンガをふやす 本をよみまくる 図書コーナーをひろく 	かいぎしつ 会議室 ボーリング ゲームたいかい おやつパーティー えいがかん かがみをふやす かくしべや あんぜんちたい 
ひなたぼっこ ごろごろ  ゴーカート アスレチック スケボー サイクリング ゲーム ラジコン サッカー おにごっこ ドッチボール たべものや おかしを食べる おしとり どうぶつとふれあう しばふひろば 芝生広場 	ひみつきち おしゃべり  うさぎをかう とりのかんさつ 草むしり 花のみずやり やたい しょうどう オセロ しょうぎ べんきょう しゅくだい テレビ ねころべるぼし おんせん きれいなトイレ わかん 和館 	カードゲーム おもちゃをふやす はくぶつかん おかし のみもの すいどうがほしい しぜんをふやす 花やペンをおく きゅうけい 休憩コーナー 	フランコ すべり台 リレー ドッチボール まくらなげ ゲーム室 おぼけやしき ちいきの人とあそぶ ごはんづくり ペンをおいてほしい ホール 

たくさんの意見をありがとうございました。
あなたと同じ意見はあったかな？
ここにはない意見があったら聞かせてください。
目黒区役所の職員一同

2 これまでの取り組み

小学生・中高生グループワーク

	小学生	中高生
実施日	・ 1月31日（土）10時～11時	・ 2月7日（土）10時～11時30分
参加者	・ 6名参加 ・ 5年2名、4年1名、3年2名、2年1名	・ 2名参加 ・ 2年1名、1年1名
実施内容	・ 屋外・屋内でやってみたいこと ・ 特にやりたいことの理由	・ よく行く場所・一緒に行く人 ・ お気に入りの場所・その理由 ・ 目黒区にあると嬉しいもの



2 これまでの取り組み

地域団体へのヒアリング

子どもに関わる活動をしている団体（大人）に子どもの居場所に関する実態を聞きました。

団体名	活動内容	内容
株式会社マミー・インターナショナル	学童保育クラブ、ランランひろばの運営	• 大人が子どもの自立を促す役割を担う • 子どもからの疑問を一緒に考え、柔軟に対応 • 子ども同士でルールや解決策を考えることを重視
NPO法人菅刈ネット21	菅刈公園の管理	• 自然体験を通じた子どもの主体性・協調性の成長 • 子どもたちの遊ぶ体力の減少 • 若い親世代の参画不足が課題
菅刈小学校特別支援学級	配慮が必要な子どもへの支援	• 遊びにも見通しを持たせることの重要性 • 保護者の安心が子どもの行動範囲拡大につながる • 楽しい体験を積み重ね、行動の原動力を貯めてほしい
めぐろ遊び場づくりの会	区内公園での外遊び活動	• 焚火を囲むことの重要性 • 自由を制限されてきた子どもが、自由な遊び方を習得する上での外遊び場の重要性
まると食堂	菅刈地域内のこども食堂	• 食事だけでなく、食卓を囲んで“団らん”の場の提供 • ルールを確認するのではなく、場の空気を感じてもらうことの重要性
菅刈住区住民会議青少年事業部	一年を通じた地域行事	• 次世代コミュニティーリーダーの育成が目的 • 大人は側面支援に徹し、必要に応じてアドバイス • 上の世代が下の世代を支える循環により、憧れ・役割モデルが形成されている
すげかりフレンズシップクラブ	講師を招いた体験教室	• 次世代コミュニティーリーダーの育成が目的 • 日本の伝統文化など様々な体験の場を提供し、子どもの興味や学ぶ機会を広げている • 保護者からの意見を取り入れ、新設した教室もある

3 基本方針（案）

基本 理念

ひとりひとりの“**やってみたい**”
を実現する菅刈の居場所づくり

基本 方針

1つ目 子どもの「やってみたい」から始めます

2つ目 やってみたいを「支える」体制をつくります

3つ目 やってみたいが「つながる」輪を広げます

菅刈地域における子どもの居場所づくり基本方針(案)

1 基本方針(案)をつくった目的

- ◆ この基本方針(案)は、菅刈地域の公園や住区センターに新たな「子どもの居場所」をつくるために、居場所を検討・企画・運営する上で、区役所をはじめとする大人が気を付けなければいけないこと、知っておかなければいけないことをまとめるためにつくりました。
- ◆ この基本方針(案)を踏まえ、菅刈地域の子どもにとってより良い居場所となるように、今後も地域の声や環境の変化にあわせながら、居場所づくりに取り組んでいきます。

2 基本方針(案)までの道のり

これまでの経過と今年度の予定

令和6年	11月	・「菅刈公園に子どもの居場所(児童館・プレーパーク)整備を実現するための署名」が提出
令和7年	8月	・第1回「菅刈地域における新たな子どもの居場所づくり会議(仮称)」
	10月	・菅刈地域でのオンラインアンケート
	12月	・菅刈小学校の3年生の教室で出前授業を実施 ・菅刈地域の様々な団体・関係機関へのヒアリング ・第2回「子どもとつくる菅刈の楽しい居場所会議」
	1月	・菅刈地域の小中高生を対象としたグループワークを実施 ・菅刈地域の様々な団体・関係機関へのヒアリング
令和8年	2月	・菅刈地域の様々な団体・関係機関へのヒアリング
	3月	・第3回「子どもとつくる菅刈の楽しい居場所会議」 ・基本方針を決定(予定)

3 地域の子ども・大人の意見を聞きました

- ◆ 区では基本方針(案)の策定に向けて、次のことに取り組みました。



子どもたちの意見を聞きました!

- 菅刈小学校や菅刈住区センターでアンケートを配布して、子どもを中心に回答してもらいました。
- 菅刈小学校の3年生の教室に行き、公園や住区センターでやってみたいことを聞きました。
- 区が企画したグループワークに参加してくれた小中高生に、地域でやってみたいこと、やってほしいことを聞きました。

大人たちの意見を聞きました!

- 地域で子どもと関わる団体の大人たちと会議をしました。
- 地域の大人たちに、子どもの居場所に関する実態を聞きました。

菅刈地域における子どもの居場所づくり基本方針(案)

4

地域の子どもたちの意見

- ◆ 子どもたちから聞かせてもらった意見の内、地域の中でやってみたいこと、あったらいいなと思うことについて、意見の一部を紹介します。

場所	小学生のやってみたい・あったらいいな	中高生のやってみたい・あったらいいな
屋外について	・ ターザンロープ ・ 遊園地 ・ プール ・ ひなたぼっこ ・ 動物と触れ合う ・ 木登り ・ Wi-Fi ・ 秘密基地 ・ 花の水やり ・ 寝ころびたい ・ ゴミ箱 ・ 綺麗なトイレ	・ 学校で十分にできない部活動の穴埋め ・ プリクラや映えスポットなどでの「その日の思い出づくり」 ・ 友達・仲間とおしゃべりできる場所
屋内について	・ 沢山の本や漫画 ・ ゲーム大会 ・ おやつパーティ ・ 隠し部屋 ・ 安全地帯 ・ 料理	・ 自分の趣味や興味に沿った空間 ・ その空間での楽しさを共有できる仲間とおしゃべり
その他	・ 何も持っていなくても楽しめる ・ 人が沢山集まる ・ 怒られない場所	

屋外で「自由」に活動したい

- ✓ 屋外でのやってみたいこととして、様々な遊びや過ごし方について意見を貰いました。
- ✓ 遊具や道具（ボール・ゲーム機）を使った「遊び」だけでなく、動植物とのふれあいや、ただのんびりする、といった「過ごし方」についても、特に小学生から多くの意見がありました。
- ✓ 中学生からは、学校での部活動が校庭や設備が限られていることで、十分に満足いく部活動を行えていないことについて意見がありました。

屋内で趣味や興味に「没頭」したい

- ✓ 屋内でやってみたいこととして、読書や料理、ゲーム大会など、屋外に比べると静かな過ごし方についての意見がありました。
- ✓ 特に「隠し部屋」「安全地帯」といった、子どもだけ・仲間内だけの秘密の過ごし場を求める意見がありました。
- ✓ 中学生からは、共通の趣味や興味を“推す”（〇〇コア、〇〇界限）仲間同士でおしゃべりや情報交換を楽しめる空間についての意見がありました。

自分たちが「決められる」環境がほしい

- ✓ 学年を問わず、学校での遊びや過ごし方が制限されていることで、学校外で「自分のやりたい」を実現できる場を見つけている子どもたちがいました。
- ✓ 学校等でのルールと同じルールで縛られるのではなく、自らルール作りに参加したいという意欲を持っている子どもがいます。

菅刈地域における子どもの居場所づくり基本方針(案)

5

地域の大人たちの意見

- ◆ 大人から聞かせていただいた地域のことについて、意見の一部を紹介します。

	大人の意見
地域のいいところ	- 子ども同士でルールや解決策を考えることを見守ってくれる大人や場所がある - 子ども一人ひとりのペースでの参加・参画を見守ってくれる大人や場所がある - 自然が豊かな公園があり、自然で遊ぶことに精通している大人がいる
地域の課題	- 公園のルールで遊びが制限されている - 安全面の懸念から、子どもが自由にどこにでも行くことが制限されやすい - 学校や学童以外で地域の中に子どもが入れる場所が少ない - 子どもと一緒に遊んだり活動する、積極的な保護者が減ってきている - 居場所に参加して欲しい子どもの利用につなげられていない
その他	- 障害などで配慮が必要な子どもが参加する場合は、子ども自身が遊びや活動についての見通しが立てやすいように、人によるサポートや、物理的な施設・整備面でのわかりやすさが大事 - ゼロから自由に遊ぶことは、子どもにとっては難しい場合がある - 既存の居場所では、焚火や食卓など「何かを囲む」空間づくりを大事にしている

「見守る」大人・場の存在

- ✓ 地域の中で子どもと関わっている大人たちに共通していることとして、「ルール」や「決まり事」を子どもに強要するのではなく、子どもと一緒に、その日・その場での約束や気を付けてほしいことを考えています。
- ✓ そうした大人たちが集まる「場」では、参加している子どもや大人が、全員で共通の「モノ・コト」を囲んで過ごしています。（遊び場：焚火、子ども食堂：食卓）
- ✓ 目的、目標が共有されている場だからこそ、その場において大事なことを共感しやすく、ルールで縛らなくても見守りやすい場となっていると考えられます。

普段の生活との「ギャップ」の解消

- ✓ 地域の中では、普段から子どもの活動は制限を受けやすい環境にあります。
- ✓ 公園での画一的なルールや、子どもの安全・保護を重視することによって、子ども自身が自由に過ごせない・過ごす場所を選べない、という状況にある可能性が考えられます。
- ✓ このため、子どもが自由に遊ぶ・過ごすを実現するためには、「自由に遊べる・過ごせる場」を設置するだけではなく、「自由に遊ぶ」を実行するのが難しい子どもをサポートすること重要であると考えられます。

「多様な子ども」の居場所への対応

- ✓ 子どもが居場所に求めるモノ・コトは様々です。
- ✓ 「遊ぶ」ことよりも「いるだけ」を希望する子どもや、「行く」ことから始まる子どもなど、多様な子どもの受け皿になる居場所のあり方を検証し続けることが重要です。

菅刈地域における子どもの居場所づくり基本方針(案)

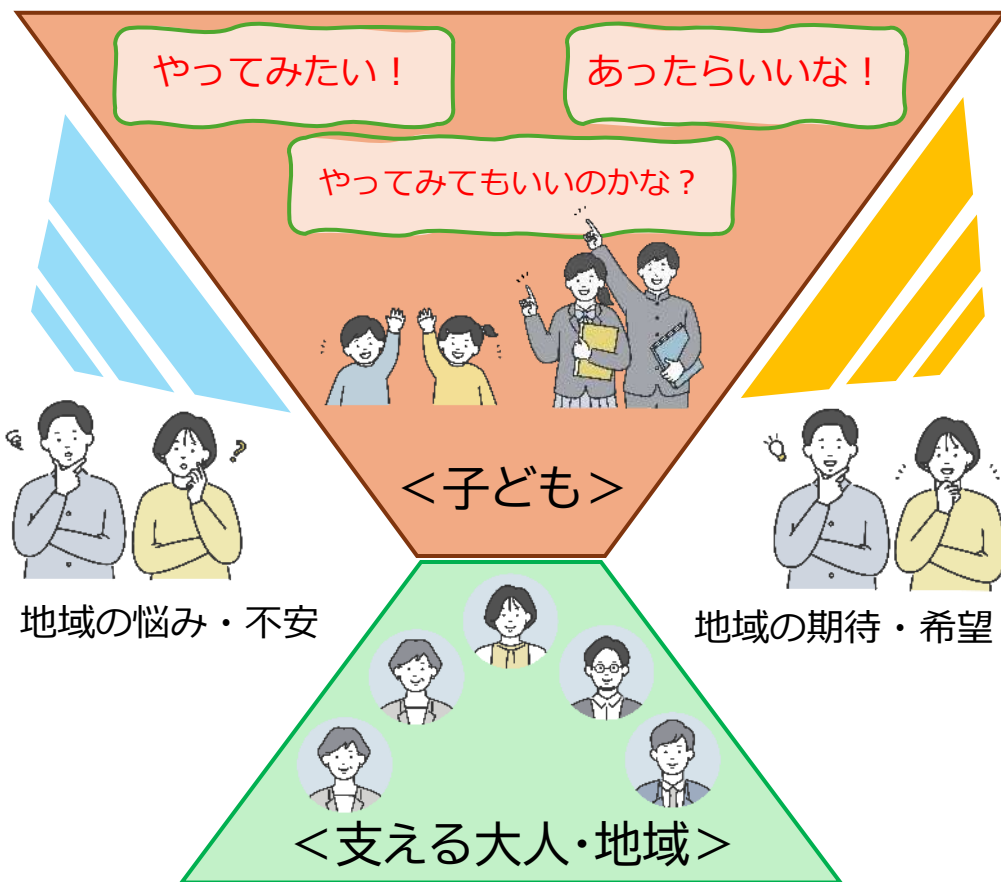
6

基本理念 (案)

基本理念

ひとりひとりの“**やってみたい**”

を実現する菅刈の居場所づくり



7

基本方針 (案)

菅刈地域における子どもの居場所づくりは、次の3つの基本方針(案)を大事にしながら取り組みます。

1つ目 子どもの「やってみたい」から始めます

- ✓ 菅刈地域の子どもたちは、様々な「やってみたい」を思い描いている一方で、ルールや制限などによって、やりたいことを実現できる環境が限られていました。
- ✓ これからつくる「居場所」では、子どもがひとりでもみんなでも自由に過ごせるように、子どもの「やってみたい」を最初の一步とします。

2つ目 やってみたいを「支える」体制をつくります

- ✓ 子どもの「やってみたい」は、子どもが安心してノビノビとできる環境でこそ育まれるポジティブな感情です。そのため、子どもとかわりをもつ大人の役割も大事になります。
- ✓ 菅刈地域の居場所では、子どもに対して「否定する」「指図する」「子ども扱いする」といったことはせず、話し合いから実現に至るまで、子どもと対等に向き合うことが実践されています。
- ✓ これからの「居場所」も子どもの目線に立ち、子どもの「やってみたい」を実現するためのサポートを大事にします。

3つ目 やってみたいが「つながる」輪を広げます

- ✓ 菅刈地域では、地域が連携した子どもも大人も交えた活動が盛んであり、子どもが主体性を持った活動も地域の魅力です。
- ✓ 区の取り組みにおいても、子どもと大人が関わりをもち続け、子どもの「やってみたい」が子ども同士や未来の子どもへつながるように、既存の地域活動との連携に取り組みます。

4 意見交換

○基本方針（案）について